



<まちづくり団体・住民の皆さまの取組み1>

「垣根を取り払った地域のつながり」

(「泉町2丁目」商店街振興組合)

1. 泉町2丁目の現状

水戸市の中心市街地である「水戸駅前」から「大工町」の中でも、昔から老舗の集まる商店街として栄えてきた「泉町2丁目」。しかし、「郊外型ショッピングモールの進出」「若年者人口の減少」「個店の次世代人員不足」等により空洞化が進む。近年、「京成百貨店」がオープンし多少なりとも賑わいを取り戻すが「商店街の魅力」のPR不足により停滞感は否めない。

2. 泉町2丁目の広報

そこで「泉町2丁目」は、広報を利用することで「商店街の魅力」をPRする活動を数年前から始動した。初年度は「泉町ガイドブック」の発行を行い個店の魅力の再PRに努めた。2年目には月刊チラシとホームページ・携帯サイトを連動させた「泉町ガイドシステム」を始動。PR精度を高めた。そして本年度は「水戸街情報マガジン<いずむ>」を月刊で発行し、ホームページとも連動させながら、各個店の逸品やスタッフを「ひとしな・ひとびと」として特集し、更なる個店の魅力表現に特化している。



3. 地域のつながり

今年度のガイドシステムでは「泉町2丁目」のみならず、「泉町3丁目」や「京成通り」「アートモール」など近隣商店街にも積極的に参加をお願いし、現在では近隣を含む100店舗程度の個店が「泉町ガイドシステム」に参加いただいている。

近隣商店街にも参加いただくようになったきっかけは役員会の中でのある役員の一のことである。それは「中心市街地を利用するお客様にとっては2丁目も何丁目も関係ないのではないか？市街地自体が垣根を取り払い近隣とつながり、街全体がひとつのショッピングモールのような魅力を発信していかなければ水戸の中心市街地に明日はない！」という内容だった。



4. 泉町2丁目のイベント

「泉町2丁目」では、年間を通していくつかのイベントを行っている。毎月第4金曜日に行う「新鮮市」、水戸市の「黄門まつり」に合わせて行う合同イベント、そして年末年始に行う「カウントダウン・フェスタ」である。



4-1, 新鮮市

月例で行われる「新鮮市」はとても好評である。近隣農家による「収穫祭・新鮮野菜市」や、婦人会による「杵臼餅つき」「大型鉄板ソース焼そば」等が恒例となり、近隣の住民に加えお昼時のサラリーマンやOLで賑わっている。アドバイザーである「藤原美江」先生のご指導もあり、水戸第二中学生による「ピカピカまつり」や、水戸商業高校生による「水商まーけっと」が今年も行われた。学生に商業を体験させながら市街地の魅力を伝えていくこの試みは「商店街」にとっても「学生」にとっても非常に有効であり、イベント以外での来街者への誘導にも一躍を担っている。



4-2, 黄門まつり

「黄門まつり」では水戸市全体のイベントの合間に小規模なイベントをいくつか開催している。本年度は、水戸ホーリーホックとのタイアップイベント「シュートゲーム」や、泉町を回遊する若者達から選抜する「ベストカップル選手権」。毎年恒例の泉町を周遊する「泉町汽車ポッポ」や、茨城県建築士協会が共催する親子参加型の「木工教室」を行った。これらのイベントも企業や近隣商店街との協力のもと開催された。



4-3, カウントダウン・フェスタ

今年で8年目となる「泉町カウントダウン・フェスタ」。昨年度までは音楽中心のイベント構成となっていたが、本年度は「参加型イベント」へのシフトを図り、地域飲食店の逸品を並べた「屋台村」や、地域物販店の逸品を集めた「富くじ」を開催。「振る舞い」や「ダンスパフォーマンス」の効果もあり例年の数倍の600名程度を集客した。



【問合せ先】

泉町2丁目
商店街振興組合
TEL
029-221-2026